



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 オイレス工業株式会社

コード番号 6282 URL <http://www.oiles.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡山 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員

(氏名) 内田 隆彦

TEL 0466-44-4901

企画管理本部長

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 38,204 | △0.4 | 3,502 | △26.8 | 3,524 | △26.6 | 1,935 | △27.1 |
| 23年3月期第3四半期 | 38,361 | 19.4 | 4,787 | 140.1 | 4,801 | 103.9 | 2,653 | 81.3 |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,254百万円 (△47.4%) 23年3月期第3四半期 2,381百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 63.82 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 83.39 | — |

(注) 潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 60,462 | 48,536 | 78.9 | 1,617.96 |
| 23年3月期 | 63,219 | 49,796 | 77.5 | 1,607.50 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 47,674百万円 23年3月期 48,974百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 15.00 | — | 20.00 | 35.00 |
| 24年3月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 25.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当金の内訳 記念配当 5円00銭

配当予想の修正については、本日(平成24年1月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 51,500 | △0.4 | 4,700 | △24.6 | 4,800 | △24.0 | 2,800 | △20.8 | 92.93 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年1月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 33,917,088 株 | 23年3月期 | 33,917,088 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 4,451,093 株 | 23年3月期 | 3,450,603 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 30,330,476 株 | 23年3月期3Q | 31,826,370 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 2 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) セグメント情報等 | 7 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| 4. 補足情報 | 8 |
| (1) 受注及び販売の状況 | 8 |
| (2) 地域ごとの売上高 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災により混乱していたサプライチェーンの復旧も進み、震災前の水準を取り戻しつつありますが、海外経済の減速と長期化する円高の影響から、製造業において需要の減少と企業の海外移転が懸念される状況となっております。一方、海外経済では、出口の見えない欧州金融危機の深刻さが増し、また、これが新興国向け投資資金の引き揚げをもたらす要因となるなど、世界経済の先行きは一層不透明さを増しております。

このような環境下、軸受機器事業につきましては、タイ洪水被害の影響が懸念されたものの、総じてアジア向けを中心に堅調に推移しましたが、国内は自動車向けを中心に震災直後の売上高の落ち込みを取り戻すには至りませんでした。また、長期化する円高の影響に加えて、固定費の増加も重なり、売上高は前年同期並、営業利益は前年同期比で減少となりました。

構造機器事業につきましては、第1、第2四半期連結会計期間は橋梁向け、建物向けともに免震装置を中心に売上が増加したものの、第3四半期連結会計期間は橋梁向けの売上高減少が影響し、前年同期比では減収減益となりました。

建築機器事業につきましては、主力の排煙オペレーターの売上高が建築着工件数の増加に伴い昨年を上回って推移したこと、および販管費を中心とする全社をあげてのコスト削減が功を奏し、前年同期比で増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は382億4千万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は35億2千万円(前年同期比26.8%減)、経常利益は35億2千4百万円(前年同期比26.6%減)、四半期純利益は19億3千5百万円(前年同期比27.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は27億5千6百万円減少、負債は14億9千6百万円減少、純資産は12億6千万円減少し、自己資本比率は1.4ポイント増加して78.9%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では現金及び預金の9億7千3百万円の減少、受取手形及び売掛金の16億6千4百万円の減少、仕掛品の5億3千7百万円の増加、固定資産では有形固定資産合計の2億7千5百万円の減少、投資有価証券の7億7千1百万円の減少であります。

負債の増減の主なものは、流動負債で未払法人税等の13億6千4百万円の減少、賞与引当金の5億2千6百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

軸受機器事業につきましては、急激な円高による輸出環境の悪化、および世界的な景気後退や、タイにおける洪水被害が今後の日系自動車メーカーの生産に影響を及ぼす懸念がありますが、中国・インドをはじめとした新興国需要の開拓、新製品の投入と徹底したコスト削減に努めてまいります。

構造機器事業につきましては、東日本大震災以降、構造物の耐震性向上の要求が一段と増加しており、免震及び制振への需要拡大にむけた積極的な営業活動と徹底したコスト削減に努めてまいります。

建築機器事業につきましては、引続き電力供給に制約が生じる環境が想定される中、エコシェイドやサンシャディなどの省エネに貢献するエコ製品への需要の高まりが期待されます。主力の排煙オペレーター製品につきましては、リニューアル物件の受注獲得とコスト低減により、売上と利益の拡大に努めてまいります。

これらの結果、グループ全体での売上高は515億円、経常利益は48億円を予想しております。なお、この予想につきましては、第3四半期の業績及び最近の動向を勘案し、平成23年11月2日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。内容につきましては、本日(平成24年1月31日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,091 | 11,117 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,652 | 15,987 |
| 有価証券 | 1,284 | 1,285 |
| 商品及び製品 | 2,783 | 2,649 |
| 仕掛品 | 2,164 | 2,702 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,391 | 1,539 |
| その他 | 1,455 | 1,411 |
| 貸倒引当金 | △97 | △108 |
| 流動資産合計 | 38,726 | 36,584 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 6,460 | 6,175 |
| 機械及び装置(純額) | 3,526 | 3,639 |
| 土地 | 3,625 | 3,613 |
| その他(純額) | 1,376 | 1,285 |
| 有形固定資産合計 | 14,989 | 14,713 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,539 | 6,767 |
| その他 | 1,508 | 1,802 |
| 貸倒引当金 | △105 | △100 |
| 投資その他の資産合計 | 8,942 | 8,469 |
| 固定資産合計 | 24,493 | 23,877 |
| 資産合計 | 63,219 | 60,462 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,868 | 6,034 |
| 短期借入金 | 0 | 0 |
| 未払法人税等 | 2,053 | 689 |
| 賞与引当金 | 1,008 | 482 |
| 役員賞与引当金 | 114 | 89 |
| その他 | 2,135 | 2,505 |
| 流動負債合計 | 11,181 | 9,801 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 0 | 0 |
| 退職給付引当金 | 1,330 | 1,317 |
| 役員退職慰労引当金 | 63 | 76 |
| 負ののれん | 6 | 5 |
| その他 | 839 | 724 |
| 固定負債合計 | 2,240 | 2,123 |
| 負債合計 | 13,422 | 11,925 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,585 | 8,585 |
| 資本剰余金 | 9,474 | 9,474 |
| 利益剰余金 | 35,904 | 36,773 |
| 自己株式 | △4,938 | △6,393 |
| 株主資本合計 | 49,025 | 48,439 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 825 | 387 |
| 為替換算調整勘定 | △875 | △1,152 |
| その他の包括利益累計額合計 | △50 | △764 |
| 少数株主持分 | 822 | 862 |
| 純資産合計 | 49,796 | 48,536 |
| 負債純資産合計 | 63,219 | 60,462 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 38,361 | 38,204 |
| 売上原価 | 24,304 | 25,058 |
| 売上総利益 | 14,057 | 13,145 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,269 | 9,643 |
| 営業利益 | 4,787 | 3,502 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 45 | 14 |
| 受取配当金 | 72 | 112 |
| その他 | 241 | 153 |
| 営業外収益合計 | 359 | 280 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 1 |
| 売上割引 | 10 | 10 |
| 為替差損 | 305 | 218 |
| その他 | 28 | 29 |
| 営業外費用合計 | 345 | 258 |
| 経常利益 | 4,801 | 3,524 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 6 | — |
| 受取和解金 | — | 81 |
| 負ののれん発生益 | 125 | — |
| 特別利益合計 | 132 | 81 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 26 | 24 |
| 投資有価証券評価損 | 369 | 97 |
| 段階取得に係る差損 | 54 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 5 | — |
| 特別損失合計 | 456 | 121 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,477 | 3,483 |
| 法人税等 | 1,765 | 1,481 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,711 | 2,002 |
| 少数株主利益 | 57 | 66 |
| 四半期純利益 | 2,653 | 1,935 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,711 | 2,002 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △20 | △442 |
| 為替換算調整勘定 | △308 | △305 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △0 | — |
| その他の包括利益合計 | △329 | △748 |
| 四半期包括利益 | 2,381 | 1,254 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,328 | 1,221 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 53 | 32 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|-------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 軸受機器 | 構造機器 | 建築機器 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 25,645 | 7,982 | 3,790 | 37,417 | 944 | 38,361 | — | 38,361 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 16 | — | 2 | 19 | 12 | 32 | △32 | — |
| 計 | 25,661 | 7,982 | 3,792 | 37,436 | 957 | 38,393 | △32 | 38,361 |
| セグメント利益 | 3,705 | 984 | 64 | 4,754 | 33 | 4,787 | — | 4,787 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「軸受機器」セグメントにおいて、平成22年10月1日に当社を完全親会社、当社の持分法適用関連会社であったオーケー工業株式会社を完全子会社とする株式交換を行いました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては125百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|-------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 軸受機器 | 構造機器 | 建築機器 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 25,551 | 7,384 | 4,260 | 37,195 | 1,008 | 38,204 | — | 38,204 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 20 | — | 7 | 28 | 16 | 44 | △44 | — |
| 計 | 25,572 | 7,384 | 4,268 | 37,224 | 1,024 | 38,249 | △44 | 38,204 |
| セグメント利益 | 2,850 | 329 | 278 | 3,457 | 44 | 3,502 | — | 3,502 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を次のとおり取得しております。

(イ) 買付期間・・・・・・平成23年11月18日～平成23年12月16日

(ロ) 買付株式数・・・・・・1,000,000株

(ハ) 買付総額・・・・・・1,454百万円

(ニ) 買付方法・・・・・・信託方式による市場買付

なお、平成23年11月2日の取締役会において、平成24年3月1日に自己株式2,000,000株を消却することを決議しております。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

| | 期首受注残高 | | 受注高 | | 売上高 | | 期末受注残高 | |
|----------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| 軸受機器 | 3,306 | 35.3 | 25,573 | 66.4 | 25,551 | 66.9 | 3,328 | 34.5 |
| 構造機器 | 5,104 | 54.5 | 7,172 | 18.6 | 7,384 | 19.3 | 4,892 | 50.7 |
| 建築機器 | 676 | 7.2 | 4,768 | 12.4 | 4,260 | 11.2 | 1,185 | 12.3 |
| 報告セグメント計 | 9,087 | 97.1 | 37,515 | 97.5 | 37,195 | 97.4 | 9,406 | 97.5 |
| その他 | 271 | 2.9 | 981 | 2.5 | 1,008 | 2.6 | 244 | 2.5 |
| 合計 | 9,358 | 100.0 | 38,496 | 100.0 | 38,204 | 100.0 | 9,650 | 100.0 |

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

| | 期首受注残高 | | 受注高 | | 売上高 | | 期末受注残高 | |
|----------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| 軸受機器 | 2,633 | 29.1 | 25,962 | 64.6 | 25,645 | 66.9 | 2,950 | 27.1 |
| 構造機器 | 5,674 | 62.7 | 9,119 | 22.7 | 7,982 | 20.8 | 6,811 | 62.6 |
| 建築機器 | 527 | 5.8 | 4,053 | 10.1 | 3,790 | 9.9 | 790 | 7.3 |
| 報告セグメント計 | 8,835 | 97.6 | 39,134 | 97.4 | 37,417 | 97.5 | 10,553 | 96.9 |
| その他 | 217 | 2.4 | 1,059 | 2.6 | 944 | 2.5 | 332 | 3.1 |
| 合計 | 9,053 | 100.0 | 40,194 | 100.0 | 38,361 | 100.0 | 10,885 | 100.0 |

前連結会計年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

| | 期首受注残高 | | 受注高 | | 売上高 | | 期末受注残高 | |
|----------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| 軸受機器 | 2,633 | 29.1 | 34,497 | 66.3 | 33,824 | 65.4 | 3,306 | 35.3 |
| 構造機器 | 5,674 | 62.7 | 10,692 | 20.6 | 11,262 | 21.8 | 5,104 | 54.5 |
| 建築機器 | 527 | 5.8 | 5,533 | 10.6 | 5,384 | 10.4 | 676 | 7.2 |
| 報告セグメント計 | 8,835 | 97.6 | 50,722 | 97.5 | 50,471 | 97.6 | 9,087 | 97.1 |
| その他 | 217 | 2.4 | 1,298 | 2.5 | 1,243 | 2.4 | 271 | 2.9 |
| 合計 | 9,053 | 100.0 | 52,020 | 100.0 | 51,715 | 100.0 | 9,358 | 100.0 |

(2) 地域ごとの売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

| 日本 | 北米 | 欧州 | アジア | その他 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-----|--------|
| 30,692 | 2,323 | 1,560 | 3,662 | 122 | 38,361 |

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

| 日本 | 北米 | 欧州 | アジア | その他 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-----|--------|
| 30,229 | 2,364 | 1,518 | 3,925 | 165 | 38,204 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。